

主題：イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 7

キリスト・イエスの内側の各部分の中で生きることによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

(1)

キリスト・イエスの内側の各部分の中で生き、
キリストにわたしたちの内側の各部分の中で生きていただく

聖書：詩 16:7. 雅 5:14 後半. ペリピ 1:8. コロサイ 3:12. テトス 3:4

- I. 「すべての召会は、わたしが内なる部分 (inward parts) と心を探る者であることを知る」——啓 2:23 後半。
- II. もしわたしたちがキリストのからだの実際の中で生きることを願うなら、キリスト・イエスの心の深み (inward parts) の中で生き、キリストにわたしたちの内側の各部分 (inward parts) の中で生きていただく必要があります——ペリピ 1:8. エペソ 4:16。
- III. キリストは人として、人の内側の各部分とそのさまざまな機能を持っていました。キリストの内側の各部分における経験は、彼の思い、感情、意志、魂、心、霊における経験であり、彼の愛、願い、感覚、思想、決定、動機、意図を含んでいました——ルカ 2:49. ヨハネ 2:17. マタイ 26:39. イザヤ 53:11-12. 42:4. マルコ 2:8 :
 - A. 平安のささげ物の内蔵 (inward parts) はキリストが神に対して内側で何であるかの柔順、小さいこと、尊さを表徴し、神の満足のためです——レビ 3:3。
 - B. キリストの内側の (内なる) 各部分は、夜には彼を教えます——詩 16:7 後半. イザヤ 50:4 :
 1. 神が人としてのキリストに助言したとき、神との接触を通して、キリストの内側の各部分は彼を教えました——詩 16:7。
 2. キリストの内側の各部分は神と一でした。これは神・人の正しい経験です——ペリピ 1:8。
 - C. 「その腹は、サファイアで覆った象牙の細工」 (雅 5:14 後半)。キリストの内側の各部分 (腹) は、深み、柔和な感覚で満ちており、それは明確な天的ビジョンの下で (サファイア、参照、出 24:10)、彼の苦難を通して、造り込まれました (象牙の細工)。
 - D. 過越の小羊を内側の各部分と共に食べることは、キリストを、彼の内側の各部分において取ることを表徴します——出 12:9. ペリピ 1:8。
- IV. パウロは絶えずキリストの内側の各部分を経験した人でした——8 節. 2:5. I コリント 2:16 後半. ローマ 8:6 :
 - A. パウロはキリストの内側の各部分 (彼の情感、柔和なあわれみ、同情) においてさえ、キリストと一でした——ペリピ 1:8。
 - B. パウロは自分の内側の各部分を保たないで、キリストの内側の各部分を自分のもの

としました——エペソ 3:17 :

1. パウロはキリストの思いだけでなく、彼の内なる存在全体を取りました。
2. パウロの内なる存在は、変えられ、再組成され、改造されました。
3. パウロの内なる存在は、キリストの内側の各部分をもって再構成されました——コロサイ 3:12。

C. キリストの中にあった真実、すなわち誠実、忠信、信頼に値することはまた、パウロの中にありました——Ⅱコリント 11:10。

D. 聖徒たちに対するパウロの愛は彼の天然の愛ではなく、キリストにある愛、すなわちキリストの愛でした。こういうわけで、パウロは彼の天然の愛によってではなく、キリストの愛によって聖徒たちを愛しました——Ⅰコリント 16:24。

V. パウロは、キリストの感覚を彼自身の感覚とすることによって、キリストのからだの実際の中で生きました——ピリピ 1:8 :

- A. キリストのからだを顧慮することにおいて、パウロはキリスト・イエスの内側の各部分を自分自身の内側の各部分としました——8 節。
- B. わたしたちはパウロのように、かしらであるキリストの感覚を自分の感覚とすべきです。これは、わたしたちがキリストのからだの実際の中で生きるために最も必要なことです——ピリピ 2:1. コロサイ 3:12。

VI. キリストを生きることは、キリストの内側の各部分の中で生きることを必要とします——ピリピ 1:21 前半, 8 :

- A. パウロはキリストの内側の各部分を経験しました。彼はキリストの内側の各部分の中でキリストと一であり、聖徒たちを恋い慕いました——8 節。
- B. パウロは天然の内なる存在の中で生活をしませんでした。彼はキリストの内側の各部分の中で生活をしました。
- C. キリストの中にある人になろうとするなら、わたしたちは彼の内側の各部分の中に、彼の柔和で細やかな感覚の中にいなければなりません——ヨハネ 15:4 前半。
- D. キリストを生きることは、彼の内側の各部分の中に住むことであり、そこにおいて彼を恵みとして享受することです——ピリピ 1:7. 4:23。

VII. わたしたちは、キリストのからだの実際の中で生きるために、同情と慈しみ（慈愛）を着る必要があります——コロサイ 3:10-12 :

- A. 同情（あわれみ）は他の人の苦難を深く意識し、それを和らげることを願うことです——ルカ 6:36 :
 1. 同情はあわれみに近いのですが、同情はあわれみよりさらに深く、細やかで、豊かです——10:33-34。
 2. 「同情」という言葉は、最も深い言葉であって、それはあわれな状態にある人に対する神の内側の愛情を示すものです——詩 103:8. ヤコブ 5:11. Ⅱコリント 1:3。
 3. 「同情」のギリシャ語は、愛情に満ちた人の心の中に生じた内側の感覚を指します。
- B. 慈しみ（慈愛）は、あわれみと愛から出てくる情け深い優しさです。神の恵みは、このような慈愛の中でわたしたちに与えられます——テトス 3:4. エペソ 2:7 :

1. その霊の実のうちの一つの項目は、慈しみ（親切）です——ガラテヤ 5:22。
 2. わたしたちの救い主・神の慈しみと愛によって、わたしたちは救われ、他の人たちと異なる者となりました——テトス 3:4. ローマ 2:4。
 3. 使徒パウロは慈しみ（親切さ）の中にある神の奉仕者でした。そして彼はわたしたちに、神の慈しみ（慈愛）の中にとどまり続けるように命じました——Ⅱコリント 6:4, 6. ローマ 11:22。
 4. 来たるべき時代、すなわち、千年期の時代、未来の永遠において、神は「キリスト・イエスの中で、わたしたちに対する慈愛（慈しみ）の中の彼の恵みの卓越した豊富を」展覧します——エペソ 2:7。
 5. 愛は慈しみ（親切）です（Ⅰコリント 13:4）。わたしたちは互いに慈しみを示し（親切で）、情け深くあり、神がキリストにあってわたしたちを赦してくださいように、赦し合う必要があります（エペソ 4:32）。
- VIII. 「あなたは内なる各部分にある真実を喜ばれます」——詩 51:6 前半。**

© 2022 Living Stream Ministry